

<59> 指揮者のために。「滅ぼすな」の調べで。ダビデによる。ミクナム。ダビデを殺そうとサウルが人々を遣わし、彼らがその家の見張りをしたときに。

59:1 私の神よ私を敵から救い出してください。向かい立つ者たちよりも高く私を引き上げてください。

59:2 不法を行う者どもから私を救い出してください。人の血を流す者どもから私を救ってください。

59:3 今しも彼らは私のたましいを待ち伏せし力ある者どもは私に襲いかかろうとしています。【主】よそれは私の背きのゆえでもなく私の罪のゆえでもありません。

59:4 私には咎がないのに彼らは走り身構えています。どうか目を覚ましここに来て見てください。

59:5 あなたは万軍の神【主】イスラエルの神。どうか目を覚ましすべての国を罰してください。邪悪な裏切り者をだれもあわれまさないでください。セラ

59:6 彼らは夕べに帰って来ては犬のようにほえ町をうろつき回ります。

59:7 ご覧ください。彼らの唇には多くの剣がありその口で放言しているのです。「だれが聞くものか」と。

59:8 しかし【主】よあなたは彼らを笑いすべての国々を嘲られます。

59:9 私の力よ私はあなたを見続けます。神が私の砦だからです。

59:10 私の恵みの神は私を迎えに来てくださる。神は私に敵を平然と眺めるようにしてく

ださる。

59:11 彼らを殺してしまわないでください。私の民が忘れることのないように。御力によって彼らをさまよわせてください。彼らを打ち倒してください。主よ私たちの盾よ。

59:12 彼らの口の罪は彼らの唇のことば。彼らは高慢にとらえられるがよい。彼らが語る呪いとへつらいのゆえに。

59:13 憤りをもって滅ぼし尽くしてください。滅ぼし尽くしてください。彼らがいなくなるまで。神が地の果てまでもヤコブを治められることを彼らが知るようにしてください。セラ

59:14 彼らは夕べに帰って来ては犬のようにほえ町をうろつき回ります。

59:15 食を求めてさまよい歩き満ち足りなければ夜を明かします。

59:16 しかしこの私はあなたの力を歌います。朝明けにはあなたの恵みを喜び歌います。私の苦しみの日にあなたが私の砦また私の逃れ場であられたからです。

59:17 私の力よ私はあなたにほめ歌を歌います。神は私の砦私の恵みの神であるからです。

ダビデには敵からの救いの可能性は全くないように思えます。その中で彼は、「高く引き上げてください」と嘆願しています。人の次元ではない、神の次元での救いを期待しているのです。

ダビデは自分の惨状を訴えているようで、しかしその願いは全くの勝利を歌っています。「憤りをもって滅ぼし尽くしてください。滅ぼし尽くしてください。彼らがいなくなるまで。神が地の果てまでもヤコブを治められることを彼らが知るようにしてください。」というように。

主への嘆願が、勝利の宣言となるまで祈りま

しょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

